

Ⅲ. 街路樹に見られる木材腐朽菌（子実体）

ヒラタケ・ヒラタケ科

幹・枝／心材腐朽

腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹、まれに針葉樹
分布	全国
子実体の特徴	■ 子実体は一年生、扇形～半円形、短柄を有し、柄は側生、幅 5 ～ 15cm、しばしば多数の傘が重なって発生する。
傘	■ 傘の表面ははじめ灰青色～黒色、後に灰白色～茶鼠色～枯草色になり、平滑。
特徴	■ 晩秋～春に、枯木や切り株などにたくさん重なって発生する。 ■ 様々な樹種に発生し、木材腐朽力は大きい。 ■ 人工栽培されているものは「しめじ」と表示されて、流通している。 ■ 本種に似るがより小形で肉が薄いものに別種のウスヒラタケがある。また、近縁種にオオヒラタケがあるが、オオヒラタケには柄の基部付近に分生子（頭部は黒い水滴状の分生子の塊となる）を形成することで区別できる。



スエヒロタケ・スエヒロタケ科

幹・枝／心材腐朽

腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹、時に針葉樹にも発生
分布	全国
子実体の特徴	■ 子実体は一年生、扇形、無柄、幅は最大 3cm 程度、しばしば多数の傘が重なって発生する。
傘	■ 傘の表面は白色～灰白色、放射状にシワがあり、粗毛を有する。 ■ 傘の肉は革質、傘肉と子実層の組織ははっきり分かれる。
特徴	■ 春～秋に発生し、ほぼ 1 年中みられる。 ■ 枯木や枯枝などに、しばしば発生するが、腐朽力は小さい。 ■ 乾燥個体は水につけるともどる。



ヤナギマツタケ・オキナタケ科

幹・枝／心材腐朽

腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹
分布	全国
子実体の特徴	■子実体は傘と柄のあるきのこ型、柄は中心生、柄の上部に顕著なツバを有する。 ■柄は白色～狐色、長さ 3 ～ 8cm。
傘	■傘ははじめ丸山型、のち平らに開く、径 5 ～ 10cm。 ■傘の表面は平滑、狐色～褐色。
特徴	■春～秋に、広葉樹の枯木や生立木の腐朽部に発生する。 ■茶色の傘と柄のある比較的大型の子実体を形成し、柄の上部に大きなつばを有し、成熟するとヒダが焦茶色になる。 ■食用として人工栽培されている。



チヂレタケ・コウヤクタケ科

幹・枝／心材腐朽

腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹、特にサクラ類
分布	全国
子実体の特徴	■子実体は一年生、杓子形～扇形～半円形～円形、径 0.5 ～ 3cm、無柄あるいは短い柄を有し、しばしば群生する。
傘	■傘の表面は卵色～狐色、縁は色が薄く、短密毛を有し、不明瞭な環紋がある。
特徴	■春～秋に、広葉樹の枯木や枯枝に、ヒダが縮れた小形の子実体が多数発生する。 ■乾燥すると縮れて握りこぶし状に下側に巻き込む。 ■スエヒロタケに似るが、スエヒロタケは傘の表面が白色で粗毛をもち、ヒダの縁部が 2 枚に裂けることで区別できる。



アイカワタケ（ヒラフスベ）・サルノコシカケ科

幹・枝／心材腐朽

腐朽型	褐色腐朽
加害樹種	広葉樹、特にスダジイ、コジイなどに多く発生
分布	全国、特に関東以西の暖温帯に多い
子実体の特徴	■子実体は一年生、坐生、半円形の傘を作り、無柄。
傘	■傘は横幅 10 ～ 30cm、厚さ 1 ～ 3cm。 ■傘の表面は鮮やかな黄色～小麦色、単独あるいは数個が棚状に発達する。 ■傘の肉は生時水分を多く含み、もろい肉質、黄色。
特徴	■夏～秋にかけて発生する。 ■ヒラフスベは、傘が展開せずにコブ状～半円形の子実体を形成し、裏面は平坦か時に管孔を形成する。 ■ヒラフスベは従来別種と考えられてきたが、アイカワタケと同種であることが遺伝子解析により明らかにされた。 ■子実体が鮮やかな黄色で、褐色腐朽を起こす。 ■アイカワタケは間皮茸と書き、腐朽材の割れ目をうずめる草状の菌糸層による。



ウズラタケ・サルノコシカケ科

幹・枝／心材腐朽

腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹、特にウメやサクラ類等のバラ科樹木に多く発生
分布	本州以南
子実体の特徴	■子実体は多年生といわれているが実際にはほとんどが一年生、坐生、無柄、馬蹄形、径 1 ～ 4cm、厚さ 1 ～ 2cm。
傘	■傘は半円形、クリーム色～枯色。 ■傘の表面はクリーム色～枯色、環紋がある。 ■傘の肉はコルク質、白～クリーム色。
特徴	■傘は半円形で径 1 ～ 4cm、厚さ 1 ～ 2cm。 ■表面はクリーム色～枯草色で環紋がある。 ■傘の肉はコルク質、白～クリーム色。 ■春～秋に広葉樹の枯木、枯枝に発生する。 ■比較的小さなクリーム色の子実体と、大型で一端が欠けた（切形）の担子胞子を有する。



カイガラタケ・サルノコシカケ科

幹・枝／心材腐朽

腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹
分布	全国
子実体の特徴	■子実体は一年生、坐生、無柄。
傘	■傘は半円形～扇形、横幅2～10cm、厚さ0.3～1cm。 ■傘の表面は軟毛を有し、灰色～クリーム色～狐色～褐色からなる、環紋がある。
特徴	■夏～冬に広葉樹の枯木、枯枝に発生する。 ■子実層托は比較的硬いヒダ状で、子実層には剣状の菌糸が多数存在する。 ■半円形で貝殻のような同心紋が特徴である。



カワラタケ・サルノコシカケ科

幹・枝／心材腐朽

腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹、針葉樹
分布	全国、暖温帯以北
子実体の特徴	■子実体は一年生、坐生、無柄、半円形、幅2～7cm、厚さ1～2mm、しばしば多数の傘が重なって群生する。
傘	■傘の表面は変化に富み、灰色、黄茶色、褐色、黒色等の環紋を形成、短毛が密生する。 ■傘の肉は薄く強靱、白色。
特徴	■最も普遍的にみられる木材腐朽菌である。 ■多種の広葉樹に発生するが、針葉樹にも発生する。 ■夏～冬に、広葉樹や針葉樹の枯木や枯枝に屋根瓦のように重なって多数発生する。 ■木材腐朽力は強く、オオウズラタケとともに JIS 木材耐朽性試験の標準菌株に指定されている。



コフキタケ (コフキサルノコシカケ)・サルノコシカケ科

幹・枝／心材腐朽

腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹
分布	全国
子実体の特徴	■子実体は多年生、無柄、坐生、扁平な半円形～やや丸山形。 ■当年生の子実体は幅 10 ～ 20cm 程度、厚さは 2 ～ 4cm 程度だが、年数を経たものは幅 50cm 以上、厚さは 40cm にも達する。
傘	■傘の表面は灰白色～黄土色～茶色、無毛、環溝がある。 ■しばしば大量の胞子が傘の上にも積もりココアの粉をまぶしたようになる。 ■傘の肉はチョコレート色、繊維質、表面直下には硬い黒茶色の組織が存在する。
特徴	■通年、広葉樹の枯木や生立木に発生する。 ■ベッコウタケと並んで緑化樹に最も多く発生し、風倒の原因となる種である。 ■多年生で、チョコレート色の傘肉を有し、大量の胞子の飛散により傘の表面や周囲が粉を吹いたよう（コフキの由来）になる。 ■ブナなどに発生するツリガネタケと似ているが、ツリガネタケの傘肉の色は薄く、肌色～鮎色を呈する。



シイサルノコシカケ・サルノコシカケ科

幹・枝／心材腐朽

腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹、特にシイ類
分布	本州以南、暖温帯から熱帯
子実体の特徴	■子実体は、多年生、背着生～半背着生で狭い傘を作り、楕円形、長径 7 ～ 20cm、厚さ 0.5 ～ 3cm。
傘	■傘が存在する場合は、傘の表面は焦茶色～黒茶色、粗面、環溝がある。
特徴	■しばしばシイ類の太枝や幹の腐朽を起こし、子実体はほぼ背着生で硬く、灰色～焦茶色を呈する。



シロアマタケ・サルノコシカケ科

幹・枝／心材腐朽

腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹、特にヤナギ属樹木
分布	全国、特に温地域
子実体の特徴	■子実体は一年生で、坐生、無柄、半円形で丸山形、幅 5 ～ 12cm、厚さ 1 ～ 3cm。
傘	■傘の表面は白色～灰白色～黄褐色・茶褐色、微細な軟毛を有するか無毛、無環紋。 ■傘の肉は白色～肌色。
特徴	■白色系の肉厚でやや硬い子実体を形成し、生時は強いアニス臭を有する。 ■ヤナギ属樹木に多く発生する。



チャカイガラタケ・サルノコシカケ科

幹・枝／心材腐朽

腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹、特にサクラ類
分布	全国
子実体の特徴	■子実体は一年生で、坐生、半円形～貝殻形、幅 2 ～ 8cm、厚さ 0.5 ～ 1cm、しばしば多数の傘が重なって発生する。
傘	■傘の表面は無毛、時に厚壁の分生胞子の存在により粉状になり、褐色、黒茶色、土色等からなる明瞭な環紋がある。
特徴	■夏～秋に広葉樹の枯木、枯枝上に群生する。 ■サクラに多く発生し、傘の表面に褐色系の色からなる顕著な環紋を有し、硬いヒダを有する。



ヒイロタケ・サルノコシカケ科

幹・枝／心材腐朽

腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹、針葉樹
分布	本州以南
子実体の特徴	■子実体は一年生、坐生、扇形～半円形、幅 3～10cm、厚さ 3～7mm。
傘	■傘の表面は鮮やかな朱色～緋色、平滑、縁は薄く、無毛、環紋は不明瞭。 ■傘の肉はコルク質、朱色。
特徴	■通年、広葉樹、針葉樹の枯木、枯枝上に発生する。 ■本菌の子実体は鮮やかな朱色を呈するため、同じ色を有するシュタケと混同されやすい。 ■ヒイロタケは、主に暖温帯に分布し、シュタケはブナ帯以北の温帯に分布する。 ■ヒイロタケの管孔は微細で肉眼で観察することは難しいが、シュタケは肉眼で確認できる点で区別できる。



ヒトクチタケ・サルノコシカケ科

幹・枝／心材腐朽

腐朽型	白色腐朽
加害樹種	針葉樹、特にマツ類
分布	全国
子実体の特徴	■子実体は一年生、ハマグリ形、無柄あるいは短柄を有し、幅 1～4cm、厚さ 1～3cm、しばしば穿孔虫の脱出孔から発生する。
傘	■傘の表面はニス状の光沢があり、黄色～栗色、無毛、裏面は白色～黄色の薄い膜で覆われ、基部の近くに楕円形の穴がある。
特徴	■早春～夏に、1年以内に枯死したマツ等に発生し、翌年からは発生しない。 ■魚の干物のような臭いがある。 ■文献では白色腐朽を起こすとされているが、枯死した直後のマツなどに侵入するパイオニア的な菌で、腐朽力はあまりないと考えられる。



ミダレアマタケ・サルノコシカケ科

幹・枝／心材腐朽

腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹
分布	全国
子実体の特徴	■子実体は一年生、坐生～半背着生、無柄。 ■傘は半円形～棚状、幅2～8cm。 ■傘の表面は灰白色～小麦色、しばしば藻類が付着し緑色となる。 ■軟毛を有し、環紋と環溝を有する。
傘	
特徴	■傘は一見カワラタケに似るが、子実層托が薄歯状になり、傘肉が帯線で2層に分かれる。 ■ヒラアシキバチと共生関係にあることが知られている。



カタオシロイタケ・ツガサルノコシカケ科

幹・枝／心材腐朽

腐朽型	褐色腐朽
加害樹種	広葉樹
分布	全国、温帯域に発生
子実体の特徴	■子実体は一年生、坐生～半背着生、無柄、半円形～扇形、幅4～12cm、厚さ0.5～2cm。 ■傘の表面は白～クリーム色～部分的に褐色、無毛、多くは無環紋。 ■傘の肉は生時硬い肉質、乾時木質、白色。
傘	
特徴	■子実体が白色で硬く、材の褐色腐朽を起こす。



カワウソタケ・タバコウロコタケ科

幹・枝／心材腐朽

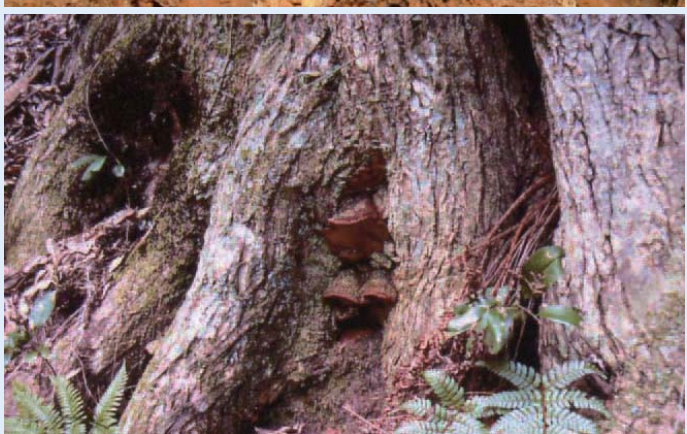
腐朽型	孔状白色腐朽
加害樹種	広葉樹、特にサクラ類、ウメ等のバラ科樹木
分布	全国
子実体の特徴	■子実体は一年生で、坐生、無柄、半円形～扇形、狭い基部を有して、幅1～6cm、厚さ1～2.5cm、しばしば多数の子実体が重なって発生する。
傘	■傘の表面は、新鮮な子実体では狐色で密毛があり、古い子実体では茶色～黒茶色で無毛。
特徴	■初夏～秋に、枯木や枯枝、生立木の樹皮上に多数群生する。 ■本菌はバラ科樹木に多く発生し、7月頃に鮮やかな狐色の子実体を形成するが、時間が経つと汚れた茶色となる。 ■大量の胞子を放出するため、胞子の積もった幹や枝は茶色になる。



ツリバリサルノコシカケ・タバコウロコタケ科

幹・枝／心材腐朽

腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹
分布	本州以南
子実体の特徴	■子実体は多年生、坐生～半背着生、馬蹄形～扁平な半円形、幅5～15cm、高さ2～10cm程度、しばしば数個の傘が重なって発生する。
傘	■傘の表面は炭質で粗く、茶色～黒茶色、縁は土色。
特徴	■子実体に鉤状の剛毛体を有する。



チャアナタケ・タバコウロコタケ科

幹・枝／心材腐朽

腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹
分布	本州以南
子実体の特徴	■子実体は多年生、背着生、茶色～焦茶色、樹皮上に不定型に広がり、厚さは5mm程度。
傘	■なし
特徴	■子実体は背着生で管孔の径は小さく、薄茶色で類球形の孢子を有する。



チャアナタケモドキ・タバコウロコタケ科

幹・枝／心材腐朽

腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹、針葉樹
分布	本州以南
子実体の特徴	■子実体は多年生、背着生、小麦色～土色、樹皮上に不定型に広がり、厚さ1～10mm。
傘	■なし
特徴	■外見ではチャアナタケと区別が難しいが、本菌は無色で大型の担子孢子を有する。 ■広葉樹に多く発生するが、針葉樹ではサンプスギというスギの特定品種に発生し、溝腐病（非赤枯性溝腐病）を起こすことが知られている。



ネンドタケ・タバコウロコタケ科	
腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹
分布	全国
子実体の特徴	■子実体は一年生、坐生～半背着生、傘は半円形～貝殻状、幅3～10cm、厚さ0.5～1.5cm、しばしば多数の子実体が重なって発生する。
傘	■傘の表面は狐色～茶色～さび色、細突起と粗毛があり、無環紋。
特徴	■広葉樹に広く発生し、薄茶色の粗面の傘を形成し、管孔面がやや紫色がかかる。

幹・枝／心材腐朽



アラゲキクラゲ・キクラゲ科	
腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹
分布	全国
子実体の特徴	■子実体は一年生、ロート状～碗状～耳状、径2～6cm、高さ0.5～1cm、単生あるいは群生する。
傘	■傘にツバはなく、形は不定形な円盤状で、表面は細毛を有する。 ■傘の肉は厚さ1mm程度、生時はゼラチン質、乾時は革質～軟骨質。背面は灰色～朽葉色、短毛が密生する。
特徴	■春～秋（ほぼ通年）に、広葉樹の枯木、枯枝上に多数群生する。 ■キクラゲに似るが、本種は背面に短毛が密生し、透明感がなく、かたい。

幹・枝／心材腐朽



マツオウジ・ヒラタケ科	
腐朽型	褐色腐朽
加害樹種	針葉樹、特にマツ類
分布	全国
子実体の特徴	■子実体は一年生、傘と柄を有し、柄は中心生～やや偏心生。 ■柄は太く、白～クリーム色、ささくれた茶色の鱗片を有し、ツバはほとんどない。
傘	■傘はマンジュウ形～平らに開き、径 5 ～ 20cm。 ■傘の表面は白色～クリーム色で、黄金色～土色～茶色の鱗片が同心円状に並ぶ。 ■傘の肉は強靱な肉質、白色、ヤニ臭い。
特徴	■春～初夏、秋に、針葉樹の切株や生立木に発生する。 ■マツの切り株にしばしば発生し、子実体が大型で強靱、松ヤニ臭い。

幹／心材腐朽



カンゾウタケ・カンゾウタケ科	
腐朽型	褐色腐朽
加害樹種	シイ類、カシ類等の広葉樹
分布	全国
子実体の特徴	■子実体は一年生、扇形～へら形、短柄を有するか無柄、径 10 ～ 20cm、厚さ 2 ～ 3cm。
傘	■傘の表面は緋色～赤茶色、微細な突起があり、無環紋。
特徴	■春～初夏、秋にシイなどの幹に発生する。 ■子実体が鮮やかな赤色で柔らかい肝臓状で、赤色の汁液を多く含むのが特徴である。

幹／心材腐朽



クジラタケ・サルノコシカケ科	
腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹
分布	全国
子実体の特徴	■子実体は一年生、半円形、無柄、幅は5～20cm、厚さ0.5～1cm、しばしば多数の傘が重なって発生する。
傘	■傘の表面は灰白色～茶鼠色、はじめは平坦、後にシワ状を呈し、無環紋。 ■傘の肉は白色～練色、コルク質で強靱。
特徴	■通年、広葉樹に発生する。 ■比較的大型で肉が厚く、灰色味を帯びた子実体を形成する。

幹／心材腐朽



ニクウスバタケ・サルノコシカケ科	
腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹、特にナラ類
分布	本州、四国、九州
子実体の特徴	■子実体は一年生、半背着生で上部が反転して傘を作り、しばしば多数の傘が重なって発生する。
傘	■傘は半円形～貝殻状、幅1～3cm。 ■傘の表面は橙色～狐色、無毛。 ■傘の肉は薄く、革質。
特徴	■夏～秋、広葉樹に発生する。 ■半背着生で薄茶色の傘を形成し、子実層托が薄歯（ウスバ）状を呈する。

幹／心材腐朽



マスタケ・サルノコシカケ科

幹／心材腐朽

腐朽型	褐色腐朽
加害樹種	広葉樹、針葉樹
分布	全国、特に温帯域
子実体の特徴	■子実体は一年生、坐生、半円形の傘を作り、無柄。
傘	■傘は横幅 10 ～ 30cm、厚さ 1 ～ 3cm、単独あるいは数個が棚状に発達する。 ■傘の表面は鮮やかなサーモンピンク～クロームオレンジ。 ■傘の肉は生時は水分を多く含み、もろい肉質、ピンク～サーモンピンク。
特徴	■夏～秋、ミズナラ、モミ、ツガ等の枯木や生立木に発生する。 ■針葉樹に発生するマスタケと広葉樹に発生するマスタケはそれぞれ別種であることが解明されつつある。 ■子実体が鮮やかなマス肉色（サーモンピンク）で、褐色腐朽を起こす。



ヤニタケ・サルノコシカケ科

幹／心材腐朽

腐朽型	白色腐朽
加害樹種	針葉樹、広葉樹
分布	全国、特に温帯域
子実体の特徴	■子実体は一年生、坐生～半背着生、しばしば多数の傘が重なって発生する。
傘	■傘は半円形～棚状、幅 5 ～ 30cm、厚さ 1 ～ 2cm。 ■傘の表面は細密毛を有し、狐色～茶色、黒茶色、明瞭な環紋と環溝がある。 ■傘の肉は生時水分を多く含み肉質、乾くとコルク質、ベージュ～小麦色。
特徴	■春～秋に多数重なり合って発生する。 ■茶色の大型の子実体を形成し、生時アニス臭を有し、管孔面を傷つけると変色する。



ツガサルノコシカケ・ツガサルノコシカケ科	
腐朽型	褐色腐朽
加害樹種	針葉樹、一部の広葉樹、特にサクラ類
分布	全国、特に温帯域
子実体の特徴	■子実体は多年生、坐生～半背着生、丸山形～扁平な半円形、幅は最大 20cm 程度。
傘	■傘の表面は無毛、環溝と環紋を有し、はじめは練色で、後に中心部から縁に向かって黒色～焦茶色～赤さび色～白色を呈し、ニスを塗ったようになる。
特徴	■通年、針葉樹、一部の落葉樹の枯木や生立木に発生する。 ■サルノコシカケ形の子実体を形成し、傘には鮮やかな赤さび色の環紋が現れる。

幹／心材腐朽



カシサルノコシカケ (ゴブサルノコシカケ)・タマウロコタケ科	
腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹
分布	全国、特に温帯域
子実体の特徴	■子実体は多年生、坐生、無柄、馬蹄形～扁平～半背着生。
傘	■傘は幅 5 ～ 30cm、厚さ 3 ～ 15cm。 ■傘の表面は橙黄色、内側になるにつれて焦茶色～黒色、縁は鈍縁、凹凸のある環溝がある。
特徴	■子実体の形は不定形で、子実層に剛毛体が少ない。

幹／心材腐朽



キコブタケ・タバコウロコタケ科	
腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹
分布	全国
子実体の特徴	■子実体は多年生で、坐生、無柄、馬蹄形～半背着生、幅は 20cm、厚さは 15cm に達する。
傘	■傘の表面ははじめ灰白色で平滑、後に灰色～黒茶色、多数の環溝と亀裂を形成、外縁部は山吹色。 ■傘の肉は焦茶色、木質。
特徴	■子実層に剛毛体が多数存在し、担子胞子が類球形で無色、厚壁である。

幹／心材腐朽



コルクタケ・タバコウロコタケ科	
腐朽型	白色腐朽
加害樹種	サクラ類、カシ類等の広葉樹、マツ類
分布	本州以南
子実体の特徴	■子実体は多年生で、坐生～半背着生、無柄、半円形で縁は薄く、横断面は三角形を呈し、幅 2～10cm、厚さ 1～7cm。
傘	■傘の表面は枯色～黄土色、粗面、微細毛あるいは無毛で、環溝がある。 ■傘の肉は橙黄色、木質。
特徴	■比較的小型の傘を形成し、無色で広楕円形の担子胞子と多数の剛毛体を有する。

幹／心材腐朽



ヤケコゲタケ・タバコウロコタケ科	
腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹、特にミズナラ
分布	全国、特に温帯域
子実体の特徴	■子実体は一年生、坐生、無柄、しばしば数個の傘が重なって発生する。
傘	■傘は半円形、幅 10 ～ 30cm、厚さ 3 ～ 7cm。 ■傘の表面は粗毛が密生し、土色～褐色、後に焼け焦げたように黒色になる。 ■傘の肉は生時大量の水を含み、土色～茶色、後に黒色。
特徴	■子実体は大型で、はじめ土色～褐色だが、後に焼け焦げたように黒色となる。発生の初期、中期、後期と変化が多い。

幹／心材腐朽



モミサルノコシカケ・タバコウロコタケ科	
腐朽型	白色腐朽
加害樹種	針葉樹、特にモミ類
分布	全国
子実体の特徴	■子実体は多年生、坐生、馬蹄形～丸山形～半背着生、幅 5 ～ 15cm、厚さ 3 ～ 15cm。
傘	■傘の表面は橙黄色～焦茶色～黒色、周囲の色は薄く、基部は色が濃く、環溝がある。 ■傘の肉は橙黄色～狐色、木質。
特徴	■モミ類に多く発生し、子実層に剛毛体を欠く。 ■針葉樹の溝腐病菌として、知られている。

幹／辺材腐朽



ナラタケ・キシメジ科

根株／心材腐朽

腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹、一部の針葉樹（ヒノキ、クロマツ）
分布	全国、特に温帯域
子実体の特徴	■子実体は傘と柄のあるきのこ形、柄は中心生。 ■柄は下部がややふくらみ、上部は白色～クリーム色、下部は狐色～茶色、繊維質、上部に厚い白色～クリーム色のツバを有する。
傘	■傘の表面は山吹色～金茶色～琥珀色、中央部には鱗片、周縁部に条線を有する。
特徴	■初夏～夏、晩秋に発生する。 ■ナラタケ類は種によって寄主や病原性が異なり、ナラタケは広葉樹と一部の針葉樹に発生し、オニナラタケは主に針葉樹に発生する。両者とも病原性は強い。 ■土壌中に焦茶～黒色の根状菌糸束を形成する。また、被害木の樹皮下に白色の菌糸膜を形成する。



ナラタケモドキ・キシメジ科

根株／心材腐朽

腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹
分布	全国、ナラタケの分布域よりやや暖かい地域
子実体の特徴	■子実体は傘と柄を有し、柄は中心生、しばしば多数の子実体が束生する。 ■子実層托はヒダ状、ヒダはやや密、白色～杏色、直生～垂生。 ■柄は細長く、傘と同色だが下部は色が濃く、繊維質、ツバを欠く。
傘	■傘の表面ははじめ丸山形、後に漏斗形、枯草色～山吹色～土色、中心部に細かい鱗片がある
特徴	■春～秋に広葉樹の枯木や生立木の根際に発生する。 ■ナラタケに似るがツバを欠くことで区別される。 ■ナラタケと同様に樹木を衰弱・枯死させるが、ナラタケと異なり土中には菌糸束を作らない。



カイメンタケ・サルノコシカケ科

根株／心材腐朽

腐朽型	褐色腐朽
加害樹種	針葉樹、特にカラマツ
分布	全国、特に温帯域
子実体の特徴	■子実体は無柄あるいは有柄、しばしば多数の傘が重なって形成される。
傘	■傘は半円形～円形、径5～30cm、厚さ0.5～1cm。 ■傘の表面は土色～褐色～焦茶色、軟毛を有し、環紋がある。 ■傘の肉は褐色、生時は軟らかいが、乾時はもろいウレタン状になる。
特徴	■初夏～秋に発生する。 ■褐色で大型の比較的もろい子実体を形成する。 ■針葉樹の根株腐朽を起こす腐朽菌のうち、最も出現頻度の高い種である。



ニレサルノコシカケ・サルノコシカケ科

根株／心材腐朽

腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹、特にニレ類、針葉樹、特にスギの老木
分布	全国
子実体の特徴	■子実体は多年生、坐生、無柄。半円形、大型で幅は最大で30cm、厚さは6cmに及ぶ。
傘	■傘の表面は、白色～クリーム色～珊瑚色。 ■平滑あるいは小さな突起が多数形成され、無環紋。
特徴	■ニレ類に多く発生し、子実体は大型で傘の色は薄く、表面にコブ状の隆起が多数発生する。 ■スギに発生するオオシロサルノコシカケに似るが、紫色がかかることはない。



ベッコウタケ・サルノコシカケ科	
腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹、まれに針葉樹
分布	全国
子実体の特徴	■子実体は一年生、初夏に鮮やかな黄色～山吹色の原基が形成され、その後、成長して傘となり、坐生、無柄、幅 5～20cm、厚さ 0.5～2cm、しばしば多数の傘が重なって形成される。
傘	■傘の表面ははじめ黄色、のち琥珀色～褐色～黒色となり、中心部の色は濃く、周縁部の色は薄く、不明瞭な環紋と浅い環溝がある。
特徴	■通年、広葉樹（まれに針葉樹）の枯木や生立木の地際に発生する。 ■緑化樹に発生する頻度が最も高い腐朽菌の 1 つであり、風倒の原因となる。 ■マメ科樹木に多く発生し、根株腐朽を起こすだけでなく、しばしば枯死させる。

根株／心材腐朽



マンネンタケ・マンネンタケ科	
腐朽型	白色腐朽
加害樹種	広葉樹
分布	全国
子実体の特徴	■子実体は一年生、傘と柄を有し、柄は偏心生～中心生。 ■柄は傘と同色～黒色、光沢を有する。
傘	■傘は、腎臓形～半円形～円形、径 5～15cm、厚さ 1～2cm。 ■傘の表面は光沢があり、はじめは黄色、後に代赭（たいしゃ）色～弁柄（べんがら）色～焦茶色、環溝がある。
特徴	■夏～秋に、広葉樹の腐朽材等に発生する。 ■光沢のある美しい子実体を形成するのが特徴である。 ■形態的には区別できないが、針葉樹に発生する種は別種のマゴジャクシとされる。

根株／心材腐朽

